

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立東林ふれあいセンター
指定管理者名	ヤオキン商事株式会社
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例
施設の設置目的	市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与するための施設 (相模原市立ふれあいセンター条例第2条)
施設概要	所在地:相模原市南区東林間1丁目22番17号(林間公園内) 構造:鉄骨造2階建 建築面積:680㎡ 延床面積:1,245㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者数合計(人)	374	16,296	32,657				
利用料金合計(円)	15,675	873,550	1,342,802				

※令和2年度は令和2年4月1日～令和3年1月3日、1月8日～3月21日で休所(開所14日間)

※令和3年度は令和3年8月6日～9月30日で休所(開所300日間)

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	・成果指標の達成度は76.6%となり、評価基準により「D」評価とする。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限や利用控え等のため目標値には達していないが、令和3年度と比較すると実績値の上昇が見られることから、さらなる広報活動等により、施設利用の促進を図りたい。

指標	
指標名(単位)	施設利用率(夜間を除く)(%)
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数÷専用利用申し込み可能件数(夜間を除く)

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	84	84	80	80	81	81	82
実績値(%)	17.3	49.3	61.3				
達成度(%)	20.6%	58.7%	76.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の達成度は108.3%となり、評価基準により「A」評価とする。 ・指定管理者の切替に伴う事業内容の一新のため、参加者数が伸び悩んだ事業もあったが、当日参加型の事業は継続して行いピーターを獲得するなど、事業の定着と同時に施設の活性化が図られている。さらなる事業参加者の増加を期待したい。 ・ミニコミ誌の発行は、目標以上の発行部数となったことを評価する。地域の話題や、地域で活躍する人物を取り上げるなど、地域との連携強化を期待したい。

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【高齢者の福祉の向上を図る事業】 ふれあいサロン(脳トレ体操・ちぎり絵)	4月～3月	(脳トレ体操) カラオケ機器を用いて、健康体操や脳トレなどのプログラムを提供する。事前受付なし、当日参加制。脳トレ体操後にいらした方同士で機能回復コーナーや麻雀を利用する等、高齢者同士の繋がりが生まれている。 全44回 348人参加 (ちぎり絵) 指先を使った細かい作業により、脳の活性化を促進させる。事前受付なし、当日参加制。参加者の作品による展示会を開き、ご家族や友人、施設利用者など多くの方にご覧いただいた。 全49回 387人参加	△
【市民の健康の保持及び増進を図る事業】 リフレッシュヨガ	8月～3月	初心者から参加できる夜のヨガ講座。30～70代までの幅広い世代が参加。当初より問い合わせやキャンセル待ちが多く、計画から実施回数を増やした。またお客様の声を受け、1月にレベル別コースをお試し開催し、翌年度より2コース制に移行している。 全13シリーズ 259人参加	◎
【地域の世代間交流を促進する事業】 夏の緑を楽しむ苔玉作り	6月～3月	数種類の中からメインとなる植物を選び、オリジナルの苔玉を作成。講師の人气が高く、以後に続く3種類のガーデニング講座へのリピート参加者が多い。 全1回 15人参加	◎
【公園内に位置する施設の立地条件を活かした事業】 星を見る会	8月・12月	林間公園の広々として空間を活かし、プラネタリウム解説員や相模原市立博物館職員協力のもと天体観測を実施。未就学児から高齢者まで参加があり、望遠鏡を触ったり、公園横での月を観察する中で多世代の交流があった。 8月:27人参加、12月:23人参加	◎
ミニコミ誌の発行	4月～3月	館内をはじめ、市関連施設や自治会、取材先等に配布。センター事業やそれに関連した特集などを掲載。 毎月発行 年発行部数6,100部(月500部、6月のみ600部)	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【地域の世代間交流を促進する事業】 キッズコーナーの拡充	2月	隣接する林間公園と景観がつながるよう、カラーマットから人工芝敷に変更。子育て世代や公園で遊ぶ子どもたちが利用しやすいよう絵本を常設し、土日は特に多くの親子にご利用いただき、公園遊びからセンター利用へといった流れができています。	◎
【市民の健康の保持及び増進を図る事業】 もしもの時に備える 乳児・小児救命講座	2月	乳児・小児を中心とした救命講座であり、座学と心肺蘇生法などを実施。乳幼児の保護者や家族に多くご参加いただくため、託児サービスを設置した。参加者は平均41歳と若い世代にご参加いただいた。 全1回 12人参加(託児サービスは2組が利用)	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・利用者満足度の目標値に対する達成度は109.7%となり、評価基準により「A」評価とする。 ・指定管理者の切替初年度であるが、前指定管理者による5年間の達成度の最高値を上回り、高い利用者満足度を得ていることを評価する。さらに満足度を高められるよう、継続して改善に取り組みられることを期待する。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査 実施期間: 令和4年11月15日(火)～12月28日(水) 回答数: 568件
目標値の基準	全体的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の回答割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	-	98.3	98.7				
達成度（%）	-	109.2%	109.7%				

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご意見箱設置	通年	1・2階にお客様からのご意見箱を設置。いただいた意見・要望は風除室掲示板に返答と今後の対応を添えて貼り出している。
講座アンケート実施	通年	講座アンケートを作成・配布。アンケート結果をもとに講座内容や実施時間の変更、難易度別のコース分け等へと反映している。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	・施設においては本体事業収支、全体収支とも黒字であり、法人の経営状況においても特段の課題はないことから、評価基準により「S」評価とする。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入（a）	44,100	40,520	40,373
指定管理料	38,166	37,741	37,269
利用料金収入	19	874	1,343
その他の収入	5,915	1,906	1,761
支出（b）	35,485	36,902	40,321
人件費	18,714	20,667	22,111
本社管理経費	3,810	3,558	610
その他の支出	12,961	12,678	17,600
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	8,615	3,617	52
自主事業収入（d）	0	316	1,710
自主事業支出（e）	1	388	1,344
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	-1	-73	366
全体収支 【(c)+(f)】	8,614	3,544	418
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う指定管理料の返還金は次のとおり(上記には含めず) R2年度 7,387,637円 / R3年度 2,094,199円 ※R4年度の返還金は無し		

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施	
実施時期	令和5年3月17日・20日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	加点事由あり
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	開館時間の全ての時間において正規職員を配置しているほか、専門的な資格・技術・経験を有する人材を育成するための研修受講等を積極的に行っており、利用者の安全・安心や満足度の向上に寄与していることから加点対象とする。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	リンクを貼る場合、「外部リンク」表記を行っている。

9 指定管理者の自己評価

受託初年度かつ指定管理者切り替えのタイミングとなった令和4年度は、窓口受付業務、施設維持管理業務、各講座の企画運営等におけるスムーズな移行と新規ユーザーの獲得に努めた。講座が一新されたため上半期は周知・集客に難航したが、センター広報紙配布やHP、SNS、受講者のクチコミなどもあり、徐々に参加人数が増加した。また、夜間講座開催やロビーのリニューアル等、子どもや日中働く世代などこれまでセンターを利用したことのない方に向けた事業を行い、その結果として利用者満足度アンケートでは有効回答の約1/4が「約半年前（令和4年4月頃）から来所し始めた」という回答を得た。

10 所管課意見

- ・指定管理期間1年目であり、試行錯誤を重ねながら様々な取組を積極的に行ったことを評価する。
- ・高齢者向け事業の充実に加え、子ども向けのイベントなども多く行ったことから、新たな利用者層の獲得に繋がっただけでなく、市民から「施設の雰囲気を変化した」との声が上がるなど、これまでの「高齢者向けの施設」というイメージから、高齢者を含む多世代が利用できるイメージへと徐々に変化してきているものと考えられる。
- ・今後も施設の持つポテンシャルを十分に活かしながら、より多くの世代に対して魅力あふれる事業を展開するとともに、さらに地域との連携を深め、地域から愛されるような施設運営に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

- ・成果指標の達成度が低いことについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、止むを得ない面もあったと思う。令和5年度以降は市民の活動も活発になると思うので、これまで以上に多くの事業の実施により、施設の活性化を図りたい。
- ・工夫して事業を展開し、地域において、より交流が進むよう取り組んでいることを評価する。地域との接点を増やし、様々な団体と連携して取り組んでほしい。
- ・施設の認知度が足りていないことから、ミニコミ誌を自治会回覧するなど、積極的にPRを進められたい。
- ・都内で生涯学習施設の運営に長年携わり、豊富なノウハウがある。林間公園内にある立地条件を活かした運営を期待したい。
- ・他の施設や団体でも似たような事業を行っていることから整理が必要。公園利用者も巻き込んだ事業展開を期待したい。
- ・本年5月に開催された「東林ふれあい市」は、非常に活発で広い世代が楽しんでおり、これまでにない良い雰囲気のイベントだと感じた。様々な市民が集うきっかけになることを期待したい。

総合評価（自動判定）

